

## 令和2年度（第72回）長崎県高等学校総合体育大会について

令和2年度（第72回）長崎県高等学校総合体育大会及び令和2年度全国高等学校定時制通信制体育大会長崎県予選大会につきましては、5月14日の長崎県高等学校体育連盟臨時理事会において、大会を中止とすることに決定いたしました。日本全体を見ると、新型コロナウイルス感染症の終息の兆しが見えず、子どもたちの命と健康を保障し、安全・安心を確保する上では、実施が極めて困難であると判断したものです。

これまで、この大会を目標として練習を積み重ねてきた選手の皆さんに対し、高校スポーツに携わってきた者として、言葉では言い表すことができないくらい申し訳ない気持ちでいっぱいです。

今、選手の皆さんは、心のどこかに大きな穴が空いたような心境であり、そのような状況の皆さんに、どのような言葉をかけてよいのかわかりません。しかし、これまで、チームまたは個人で、それぞれの目標に向かって努力してきた過程（プロセス）は、間違いなく正当に評価できるもので、何物にも変えられない貴重な財産であり、きっと、皆さんの将来を支える礎になるはずです。

ただ、私が懸念することが一つあります。皆さんが、大会が中止となったことで、前に進む気力を失い、培った力やエネルギーそして時間を無駄にしてしまうのではないかということです。直ちに、気持ちを切り替えることは難しいですが、できるだけ早く、自分は「何をやるべきか、何ができるのか」を考え、一步一步前へ、踏み出してください。勇気を持って、一步を踏み出すことにより、次のステージが見えてきますし、新しい世界が必ず皆さんを待っています。

部顧問をはじめとする教職員やコーチ等指導者の皆さん、保護者の皆様におかれましては、運動部活動の集大成の場である県高校総体の開催を子どもたち以上に願われていたことと思います。また、3年生には、県高校総体を一区切りとしてやりきり、すっきりと進学や就職などに集中させたいと考えておられたかもしれません。日頃の生活や活動状況を間近で見てこられ、一番の理解者である皆さんにとって、今の子どもたちの姿は、どのように写っているのでしょうか。今の姿は、本来の姿でしょうか。見失ってしまいそうになる本来の姿を子どもたちが取り戻すためにも、子どもたちの背中を後押ししていただければと思います。

最後になりますが、県高校総体は中止という結果になりましたが、新型コロナウイルス感染症に対しては、引き続き「自分を守る、他人を守る」対策に取り組まれるようお願いいたします。

令和2年5月15日

長崎県高等学校体育連盟 会長 後藤慶太